

(別紙1)

事業報告書

事業名	ユニパスさんと支援者をつなぐユニパスコンベンション
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附（子ども分野）
事業実施期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月13日
事業内容	<p>本事業では、生きづらさを抱える子ども・若者（ユニパス）への理解促進と支援体制の構築を目的として、以下の取り組みを実施した。</p> <p><b>1. ユニパスコンベンションの開催</b></p> <p>（1）香川県内の中高生を対象に実施したアンケート調査結果の報告を行い、生きづらさの実態を共有するとともに、一次予防を含めた今後の支援の在り方について提案した。</p> <p>（2）発達障害、学習障害、吃音、チック症、LGBTQ、性被害、ヤングケアラーを含むマルトリートメント、長期入院、依存症を含む精神疾患、不登校等、子どもの生きづらさに関わる多様な要因や状態に対応する支援団体が参加し、それぞれの活動を紹介するブースを設けた。来場者との交流を通じて、支援の選択肢を可視化し、支援機関同士の連携促進を図った。</p> <p><b>2. 支援団体リスト（ユニパスバンク）の作成・配布</b></p> <p>子どもの生きづらさの要因や状態ごとに支援団体を整理し、各団体の概要および連絡先（QRコードを含む）を掲載した冊子を作成した。作成したリストはコンベンション参加者に配布するとともに、今後の支援につながる基盤として活用できる形で整備した。</p>
事業実施の効	<p>コンベンション当日は、現地参加 95 名、オンライン参加 30 名、計 125 名が参加し、22 の支援団体が参画した。また、企業 3 社の参加に加え、県外の教育関係者や支援団体もオンラインで参加するなど、多様な主体が関わる広がりのある事業となった。さらに、群馬県の教育関係行政職員 3 名が視察に訪れるなど、本事業の取り組みは広域的な注目を集めた。</p> <p>当日および終了後には多くの反響が寄せられた。参加した支援団体からは、同じ方向性を持つ団体同士が相互に認識し、つながる機会となったとの声があり、支援機関間のネットワーク形成に寄与した。学校関係者からは、生徒や保護者に提供できる具体的な支援情報と安心材料を得ることができたとの評価があった。自治体関係者からは、現場で抱える課題解決のヒントを得ることができたとの意見が寄せられた。さらに、ユニパス当事者からは再就職の可能性を見出す契機となったとの声もあり、多様な立場の参加者にとって有意義な機会となった。</p>

	<p>本事業を通して、「つながること」の重要性が共有されるとともに、ユニバスパンクプロジェクトが支援対象に対して有効に機能し得ること、また支援団体・教育機関・行政・企業が協働して取り組む基盤が形成された。これにより、今後はユニパスコンソーシアムとして継続的に活動していく方向性が確認された。</p> <p>加えて、支援団体リストの作成・配布により、各団体の活動内容や連絡先が可視化され、支援先の選択や団体間の連携を促進する基盤が整備された。</p> <p>今後は、毎月1回のユニパストークの開催を通じて、当事者の声の共有、学習機会の提供、相談機能の充実を図るとともに、ユニパスさんを支援するアプリ開発に向けた取り組みを進める。本事業はその基盤となる第一歩となった。</p>
<p>備 考</p>	<p>本事業は、教育・医療・福祉・行政・企業が連携する支援基盤の構築に寄与するとともに、県外行政からの視察やオンライン参加を通じて広域的な関心を集めた。今後はユニパスコンソーシアムとして継続的な展開を図り、地域を超えた支援モデルとしての発展が期待される。</p>

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

### 事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2025/8	第1回打合せ（オンライン）ユニパスバンクコンベンションに向けて内容やスケジュールについて チラシ作成とプロジェクト説明チラシ作成 ユニパスバンクプロジェクトの全体企画構想をホームページ上にアップ	スタッフ	5名
2025/9	香川県、高松市、県教委等へ後援依頼 第2回打合せ（オンライン）支援団体、関係者にイベント周知に関する打ち合わせ		
2025/9-12 2025/11 2025/12	支援団体リスト作成のため該当団体をリサーチ 第3回打合せ（オンライン） アンケート結果報告プレゼン準備 第4回打合せ（オンライン）冊子の編集に関する打ち合わせ		
2026/1 2026/2/2 2026/2/13	団体リスト完成、プレゼン完成 現地でリハーサル実施 第5回打合せ（対面）役割分担、当日の流れ	スタッフ スタッフ	3名 4名
2026/2/14	ユニパスコンベンション開催	会場参加者 オンライン	94名 30名
2026/3/3 2026/3/11 2026/3/18	イベント振り返りと今後の計画 今後の計画、助成金申請について ユニパスバンクプロジェクトの役割分担について	スタッフ	4名

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

## 収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 177,000	
自己資金計	32,182	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等		
③寄附金等		
④その他	32,182	法人会計より
その他助成金等収入計	34,500	①+②+③
① 補助金収入	4,500	香川県 NPO 基金団体指定補助金
②委託金収入		
③その他	30,000	株式会社エッグシステムより協賛金
その他資金収入		
合 計	243,682	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
使用料	42,080	42,080	サンメッセ香川中会議室 2/2 午前リハーサル、2/14 午前午後イベント使用
委託料	20,000	20,000	チラシデザイン
文房具	2,022	2,022	カラーラベル、ラベルシール、謝金袋
旅費	81,080	14,398	スタッフ旅費 @34,960 当日専門家旅費 @46,120
報償費	98,500	98,500	パネラー謝金 @5,000×2名 Google フォーム作成 @1,500×2h 交流団体リスト作成 @1,500×20h 2/2 リハーサル @1,500×3h×3名 2/14 スタッフ賃金 @1,500×7h×4名
合 計	243,682	★ 177,000	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。